



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.371 2021

鹿児島ワイズメンズクラブ

11月号

国際会長 : Kim Sang-chaе [韓国] 世界とともにワイズメン Y's Men with the World  
 アジア会長 : 大野 勉 [神戸ポート] 100年を越えて変革しよう Make a difference beyond the 100th  
 西日本区理事 : 新山 兼司 [京都トップス] Challenges for the future 未来への挑戦  
 九州部部长 : 森 律子 [八代] 小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ  
 With great love for the little things And towards the future...



SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

## 10月例会報告

10月26日に、国際交流センターに於いて、鹿児島ワイズメンズクラブの定例会が開催されました。3ヶ月ぶりの対面での例会でしたので、喜びもひとしおでした。やはり、リモート・オンラインよりも直接お会いできるのがいいですね。今期、私が会長主題に掲げさせていただいておりますことは、鹿児島の地で具体的にSDGs活動をしましょう!ということです。しかし、SDGsといっても何だろう、ということがあろうかということで、会員皆さんと一緒にSDGsについて学ぼうということになりました。ユネスコのSDGsに関する資料を基に私が解説させていただきました。皆さんに少しはご理解いただけたでしょうか。SDGsと関連付けながら皆さんの近況もそれぞれ話していただきました。直接お会いできる喜びに溢れる和やかなひと時でした。

鹿児島クラブ 中堀 清哲





## 会長通信

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.



昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルス（COVID19）はここに来て日本国内では第5波が収まりつつあります。しかし、ヨーロッパでは再び感染が拡がりを見せており、油断のならないところです。日本でも第5波が収まった理由がはっきりしない点が不気味です。この様な中で10月31日に衆議院議員選挙が行われました。マスコミなどの事前予想では自民党が大幅に議席数を減らす、との予想に反して自民・公明与党が293議席を獲得して安定多数ということになりました。コロナ禍にあって国民は安定を望んだのでしょうか。しかし、投票率は戦後3番目に低い55.93%でした。実に4割以上の方が政治に参加する権利を放棄したわけです。私はこの事がこれからの日本にとって一番危機的な事ではないかと思うのです。「自分には関係ない」とか「どうせ世の中変わらない」とか言っているうちに、いつの間にか自分に都合の悪い、不利益を被る時には文句を言ったり、反論することは出来なくなるのです。民主主義の恐ろしい面を人類は既に経験しております。第1次世界大戦が終わり、世界恐慌などが起こった混乱に乗じて、ドイツではヒトラー率いるナチス党は合法的に独裁国家を築き上げていったのです。その後の悲惨な歴史は皆さんご承知の通りです。歴史の教訓に学びつつ、一人一人が責任をもって、政治には関心を持つべきではないでしょうか。そして、チェック機能を常に働かせるべきなのです。日本では鎌倉時代から約700年以上、一握りの侍・武士達が行政権を行使してきたので、「政（まつりごと）はお上が為さる事」という観念が人々のDNAの中にどうやら、刷り込まれてしまっているような気がします。ワイズメンズクラブにおいても区、部の役員だけが為さること、というのではなく、お一人お一人がワイズの崇高な理念と目標を実現するべく参加していただきたいものです。



## 理事通信

西日本区理事 新山 兼司

Challenges for the future  
未来への挑戦



10月とは思えない季節外れの気候に皆様の体調は、いかがでしょうか？

東北や関東では最大震度5強の地震が発生し、和歌山では水管橋崩落など日本での災害が続いています。10月8日岸田文雄首相は、就任後初めての所信表明演説が衆議院本会議で行われました。新型コロナウイルス感染症の対応に関し、司令塔機能の強化や、人流抑制と医療資源確保のための法改正で危機管理を抜本的に見直す方針を表明され、格差是正に向けて中間層を守る「新しい資本主義」を唱え、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」による実現を呼び掛けられました。

又、コロナ対応を最優先課題と位置付け①3回目のワクチン接種の準備②経口治療薬の年内実用化③電子的なワクチン接種証明④無料検査の拡大を挙げ「安心確保の取り組みの全体像」を示すよう関係閣僚に指示をされました。西日本区内では、この新型コロナの影響により、各部会の中止や延期が続出しているため、国のスピーディーな対応を期待しています。

10月2日九州部会では、部会を中止されましたが評議会とメネットアワーをオンラインにて開催されました。評議会では各主査及び各会長の活動報告をされ、又各議案内容に関して熱心に討議をされていました。私も参加させて頂き感じた所です。メネットアワーでは「コロナ時代、食でレジリエンス（回復力）アップ!」と題して川野美智代先生から講演を頂きました。私も学生時代国体選手として野球をしていました。食の分析から学ぶ「スポーツ栄養」などの勉強もしていましたので、川野先生の講演はたいへん聞きやすかったです。

10月13日京都トップスクラブ10月例会にて「ワイズの出会いで人生が変わった?!」～事業多角化への歩み～と題して私が講演をすることとなりました。植浦EMC委員長からの依頼で京都トップスクラブは、この2年間で新入メンバーが多く入会され、ワイズメンズクラブの素晴らしさを新山理事の人生を通じて講演をお願いしたいとの依頼でした。10月例会は9月例会に引き続き新入会員入会式及びメンバー候補者ゲストの皆様も参加され、たいへん有意義な例会となりました。

10月17日阪和部EMCシンポジウムがオンラインにて開催されました。西日本区山口EMC事業主任の基調講演に引き続き、新入会員者を増やされた事例紹介を数クラブより発表されました。又、「我がクラブの良い所・問題点」を各クラブ会長より発表がありました。今後の阪和部EMC活動に期待します。

10月20日は、私と大久保東日本区理事と共に日本YMCAスタッフ研修の講義をオンラインにて「ワイズメンズクラブとYMCA」についての講師をすることとなりました。たいへん緊張しましたが何とか耐えました。

10月22日京都部国際交流事業懇談会に私と西日本区深谷国際交流事業主任・西日本区的場事務局長と参加

しました。久しぶりのリアルでの懇談会は良かったです。各クラブの交流事業の現状と問題点などの報告がありました。やはり新型コロナの影響が出ていましたね！

10月23日・24日第2回西日本区役員会です。凄まじいほどの議案・協議案が出されています。資料が2冊になりました。これは、何とか西日本区をもっといい方向へ変えていきたいと思う熱い方々の証と受け止め審議をしました。結果は別資料にてご報告します。少し時間が足りなかったですが、やはり役員の皆様とのリアルでの議論は良かったです。このまま新型コロナが収まるのを願っています。素晴らしい役員会でした！

## 革靴と藁草履 神村 浩

戦時中と戦後の混乱期を過ごした幼年時代は、想い出と云うより、その後の人生の基礎を作ったような気がする。小学3年の時、満州から頼娃に帰国した。

その変化は、まるで文明国から未開の地に来たようなものだった。

頼娃は父の郷里で藁と土の文化しかなかった。藁吹きはやや傾いた家があり、それが先祖から頂いた安住の地であった。文明らしきものと云えば、各家庭に1ケづつある20Wの電球ぐらいのものだった。特に辛かったのは水洗便所からチャッポン便所の違いだったが、これにはすぐ慣れたみたいだ。

転校先の学校に、父に連れられて出校した。私は皮靴を履き、皮のランドセルを背負っていた。そのいで立ちは全校生の注目を浴び、まるで外の惑星から来た異星人を見るような目つきでジロジロと見られた。みんなのいで立ちは教科書を風呂敷に包み背中に斜めにかかっていた。靴などあろうはずもなく、藁草履が裸足だった。

私はこれでは「いじめの対象」になると感じ、皆と同じになれるよう、風呂敷と藁草履を母に要求した。風呂敷は艶のあるいかにも高級そうな生地だった。もっと汚いものをと、何かの生地を裁断し目的は達成した。しかし、靴が難題であった裸足で出校するには、まだ私の足の平は弱すぎた。農家の子供とは違ったのだ。藁草履は手に入れたくても、売っているものではなかった。

朝の朝礼は、グラウンドに裸足で立っていなければならなかった。父が先生に頼んで特別に皮靴を許可してもらった。

しかし、私はそれに甘えず皆と同類になりたかった、藁草履の作り方を近所のオジサンに教わった。さほど難しいものではなく、作り方を一度で習得してしまった。これで皆と同じになれると勇んで出校した。ところが、学校に着いた頃にはバラバラになってしまった。やはり藁を絞める力が不足だったのだ。努力した甲斐があり、だいぶ丈夫なものを作れるようになった。夏は当然裸足で過ごし、足の平も厚くなっていった。

運動靴が出てきたのは、小学6年から中学2年の頃だったと思う。それまで藁草履の世話になったのは永かった。今でもあの藁草履を作りたいと思っている。

## 11 企画例会報告 Planning meeting report

日時：令和3年11月9日 火曜日  
19:00～20:00  
場所：Zoom  
出席者：神村、中堀、園屋、徳田、新内、松永

## 10 定例会報告 Planning meeting report

日時：令和3年10月26日 火曜日  
場所：Zoom  
出席者：8名  
司会者：松若

### 10月例会の記録

|        |     |
|--------|-----|
| クラブ在籍者 | 10名 |
| 出席者    | 8名  |
| メネット   | 0名  |
| ゲスト    | 0名  |
| ピジター   | 0名  |
| メイクアップ | 0名  |
| 10月出席率 | 80% |



高さ3～8mの落葉低木で、日本全土に分布している。山で最もよく見かける木の一つで、秋には真っ先に紅葉する。ウルシ科の木には紅葉のきれいなものが多い。ツタウルシ、ハゼ、ヤマハゼ、ヌルデ等はよく目立つ。葉の付き方は、1回奇数羽状複葉と呼ばれている。一つの葉に葉心が出来て枝のようになり、この葉心に互生した2枚ずつの葉が付いたように見える。これを羽状複葉という。葉心の先に葉が出ているものが「奇数」無いものが「偶数」羽状複葉である。この羽状複葉を2回繰り返しているネムノキの葉は、2回羽状複葉と呼ばれる。

雌雄異株で、5～6月に黄緑色の小さな花を多数付ける。葉や枝に触れるとかぶれることがあるので要注意。

学名は *Rhus trichocarpa* で、ウルシ科ウルシ属である。

ウィキペディア参照

### 今月の聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。  
探しなさい。そうすれば、見つかる。  
門をたたきなさい。  
そうすれば、開かれる。

マタイによる福音書7章7節

## 鹿児島YMCA報告

秋らしく、少し肌寒い朝ではありましたが、11月14日（日）に鹿児島ワイズメンズクラブと鹿児島YMCA合同で清掃活動を実施することができました。

SDGsにある17の目標の14番目にある「海の豊さを守ろう」を考えるにあたり、コロナ禍で釣りレジャーの人気の高まると同時に、社会問題となった海洋ごみのことを考えました。それに基づき、今回の清掃場所は谷山港ヘリポート付近。普段より家族連れの釣り客がたくさん訪れる場所であり、生活圏でない場所だけに不法投棄などもある区域です。

一見ごみの散乱は見受けられないのですが、一帯に広がる草が生い茂る区域では隠れるように大量のごみがありました。そのごみを法人賛助会会員社員や個人会員、青少年会員、ワイズメンズクラブのメンバー合わせて約90名の参加者が1時間も満たない時間の中で燃えるゴミ燃えないゴミ、粗大ゴミなど合わせて50袋も収集することができました。

ゴミ拾いを通して、見えてきたこと。それは風によって運ばれたごみがこの生い茂る草によってひっかかり、溜まっているという現実と、風向きによっては同じようなごみが海に飛ばされていることを容易に想像できるということです。今回の清掃活動で、これだけの海洋ごみになっていたかもしれないゴミを収集することができた事実は、持続可能な海の豊さを守ることを考えるうえで、大きな一歩にしていかなければなりません。プラスチックゴミが与える海洋生物への影響は近年警鐘が鳴らされている世界規模の課題です。清掃活動を通してSDGs運動に参画できたこと、そしてそれを次にどうやってつなげていくか、私たちが考えていかなければならない課題です。

鹿児島YMCA 新内 博之

